

アルミ合金チエロ贈る

山下工業所 下松市制75周年祝う

下松市の市制施行75周年を記念し、新幹線の先頭車両を製造する同市の山下工業所が24日、アルミ合金製のチエロを市に寄贈した。

井川成正市長は「素晴らしい技術。ものづくりの町として最高の贈り物」と感謝した。市役所ロビーに展示する。

チエロは、2010年に現代の名工に選ばれた同社の藤井洋征さん(69)が08年に手掛けた。高さ約130センチ、

重さ7・2キログラムで、厚さ2ミリのアルミ合金をハンマーでたたいて微妙な曲線を生み出し、溶接。約1カ月半で完成させた。

藤井さんは仕事の合間を縫ってチエロのほか、バイオリンやビオラ計12本を作ってきた。「プロの演奏家には厚みが薄くなればなるほど音の響きが良くなる」と言われた。軽量化に挑戦したい」と意欲を語り、山下竜登社

長(50)は「楽器作りを代に伝えたい」と話し、打ち出し板金た。の高い技術を若い世



井川市長(左)にチエロを贈る山下社長(中)と藤井さん(右)

山口総合

徳山駅ビル 完成前倒しも

周南市が基本設計公表

周南市は24日、建て替えるJR徳山駅ビルの基本設計を公表した。3階建てで、イベントなどに使えるオープンデッキを備える。開業時期は従来通り2018年春としたが、「なるべく前倒しい」と早期完成を目指す意向を示した。有識者などでつくる

駅周辺デザイン会議で説明した。1階は書店とカフェ、2、3階は図書館が中心。2階の床と連続してビル北側に長さ約120メートル、幅約6メートルのデッキが張り出す。1階部分をひさしのように覆い、雨天でもイベントが可能。3階にも幅約3メートルのデッキを設ける。

延べ約4500平方メートル。ビル西側に立体駐車場を設ける。現在の駅ビルは15年度に解体に着手。18年春の開業を目指し、駅北口広場の一部の整備を並行して進める。図書館に併設を検討するカフェスペースに、委員は「本当にコーヒーを飲みながら



岩瀬さん(右端)と意見交換する漁業者たち

周防大島町や国民、漁業者の代表、周防大島アワサンは、町南東沖に群生ホンアワサンゴのや保全に近く、木り出す。24日、環物多様性保全推進ザーを務め、サンい黒潮生物研究所大月町)の元所長さん(57)を招き、した。

岩瀬さんは周防入の県漁協白木支議会保全部会のダイバー計4人と

(滝尾明日香)